

九度山町議会 6月議会が6月5日(火)に開会

一般質問は6月15日(金)午前9時から

2018年第2回九度山町議会定例会(6月議会)審議日程

月日	曜日	時刻	議会日程	審議予定
6月5日	火	午前 9時30分	本会議	議案の上程・提案説明 専決案件に対する質疑・討論・採決
6月15日	金	午前 9時	本会議	一般質問 、議案質疑・委員会付託
6月18日	月	午前 9時30分	委員会	
		午前 9時	本会議	<予備日>
6月19日	火	午前 9時30分	委員会	<予備日>
6月22日	金	午前 9時	本会議	委員長報告 委員長報告に対する質疑、討論、採決
6月25日	月	午前 9時	本会議	<予備日>

議会の傍聴をお願いします
ご意見ご要望をお寄せください

肉付け補正予算案発表
一般会計総額34億9547万円(前年同期比9%増)
 6月1日、九度山町議会・議会運営委員会が開かれ、2018(平成30)年第2回九度山町議会定例会(6月議会)の審議日程(左表)が決まりました。6月議会に提案される議案は、専決の承認(町条例一部改正、2017年度補正予算案)6件、2018年度補正予算案(一般会計、国保、介護、水道、下水道)5件、町条例制定・改定3件の合計14件です。一般質問は15日(金)に行われます。

提案された議案から

◆一般会計補正予算

町長選挙後の政策的経費や新規事業など町長の意向を反映させた「肉付け」予算となる一般会計補正予算案で1984万円を増額。これにより一般会計予算総額は前年度同期比で9・0%増の34億9547万円となります。

★主な事業

【民生費】

○見守り電話サービス事業 委託料 38万2千円
 日本郵便の見守りサービスを利用し、音声電話で利用者の安否・体調確認を行う。

【土木費】

道路改良工事(拡幅)
 ○町道107号(永代第一地区) 791万円
 ○町道84号(広良地区) 841万円



町道84号(広良)

○町道110・186・187号(旭二地区) 500万円

【教育費】

○将星真田幸村花火大会補助金 1300万円
 第4回花火大会実行委員会への補助

◆介護保険特別会計

○生活支援体制整備事業委託料 580万円

ボランティアなど多様な主体を活用しながら高齢者を支援していくことを目的とし、生活支援コーディネーターの配置や協議体の設置を行う事業を委託

◆町条例

○「九度山町役場庁舎建設基金条例」の制定
 役場庁舎の建設、改修等に必要経費の財源に充てるため、新たに基金を設置するための条例を制定



町議会議員 伊丹俊也



ブログ開設中

「Good Morning, 九度山」
<http://licitami.at.webry.info/>

九度山民報

No.56 2018年6月3日発行

編集・発行 日本共産党九度山町支部
 《連絡先》伊丹俊也
 〒648-0101 九度山町九度山747-32
 TEL&FAX 0736-26-7382
 e-mail itami_t@mth.biglobe.ne.jp

市民と野党の共闘 日本共産党躍進に大きな期待

350人参加 演説会へのご協力ありがとうございました

市田忠義 副委員長・参院議員 政治を変える 展望を語る



められた思いを、理念、歴史、語源の三つの角度から丁寧に紹介。党名をころころ変える政党が多い中で「96年間、一つの党名を貫き通すことができたことが誇りです」と力を込め、日本共産党の躍進を訴えました。

前ひさし参議院和歌山選挙区予定候補、かつらぎ町議選(7月17日告示、22日投票)の宮井けんじ、東芝ひろあき両町議や、来年4月の統一地方選へ向け橋本市の阪本久代、高本勝次両市議、九度山町の伊丹俊也町議が決意表明しました。

日本共産党紀北地区委員会は5月26日、市田忠義党副委員長・参議院議員を弁士に迎え、かつらぎ町のかつらぎ総合文化会館大ホールで演説会を開きました。

市田参院議員は、森友、加計問題で次々と明らかになる文書を示し「安倍首相夫妻の関与は明らかだ」と告発。自衛隊日報の隠ぺい、セクハラ問題などを挙げ、もはや安倍政権は「政権失格」と退陣を求めました。

米朝首脳会談についても外交解決の可能性が残されたことを強調し、圧力一辺倒の安倍政権を批判するとともに、対話での解決を一貫して追求する日本共産党の姿を紹介しました。

また、日本共産党の党名に込



声援に応える(左から)伊丹、高本、阪本、前、市田、宮井、東芝の各氏

市田参院議員と懇談した元かつらぎ町長の南衛さん(83)は「命を大切に作る国政でないダメだ。一日も早く安倍政権を倒してほしい」と話しました。

●参加者の感想(一部紹介)
「すばらしいお話で自分の生き方に自信をもらいました」
「わかりやすく楽しかった。時間のたつのを忘れました」
「ユーモアを交えたわかりやすい話をありがとうございました」

●演説会第一部の文化行事



前田佳世さんのミニコンサート



和太鼓集団「和響」の太鼓演奏

2019年参議院和歌山選挙区

日本共産党 前ひさし氏を擁立

「市民と野党の共闘で内閣総辞職に追い込む」

日本共産党和歌山県委員会は5月11日、和歌山県庁内で会見し、参議院和歌山選挙区に党県常任委員の前久(まえひさし)氏(61歳・新人)を擁立すると発表しました。

会見には下角力県委員長が同席し、「市民と野党の共闘で安倍政権を退陣に追い込みたい」とのべました。

前ひさし氏は会見で、安倍自公政権による憲法破壊をきびしく糾弾。朝鮮半島の「完全な非核化」を含む恒久的な平和体制をかかげる板門店宣言を評価する一方、北朝鮮問題に圧力一辺倒の安倍首相を批判。改ざん、隠ぺい、ねつ造、セクハラ、シブリアンコントロールの危機の安倍政権はもう退場するしかない」と強調しました。

過労死を加速させる「働き方改革」や消費税増税に強く反対し、原発ゼロ、社会保障の充実のため、全力をあげる決意を表明。住民が強く反対している和歌山市の産業廃棄物最終処分場計画や山林を大きく削るメガソーラー計画、巨大風力発電計画をストップさせるため力を尽くし、和歌山県知事や和歌山市長がすすめるカジノ施設誘致を許してはならないと訴えました。



前ひさし氏略歴

- 古座川町出身
- 南九州大学卒業
- 和歌山西部民主商工会の職員を経て、1986年に共産党県委員会に入り、党の北部地区常任委員や北部地区委員長などを歴任
- 日本共産党和歌山県委員会常任委員